

ステータス:	終了	開始日:	2013/12/01
優先度:	通常	期日:	2013/12/02
担当者:		進捗 %:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:		作業時間の記録:	0.00時間

説明

状況(2013.12.02)

V6.63にて対応済み。

(原因)

演奏停止時点でのメインウィンドウのシークバーによる位置決めは単純であるが、演奏中のシーク操作ではシーク後に演奏を再開する仕様である。

演奏中のシークであっても、内部処理としてはシーク開始時点で一旦MIDI音源をクローズし、シーク先が決定した時点で再度オープンし演奏を再開する。

一方、版権表示部分の マークは、基本的にはMIDI音源がオープンされ演奏している状態を表現しているが、演奏中のシークにおいては

内部的にMIDI音源がクローズされても マークを表示したままにしておき、停止状態でのシークか演奏中のシークかを識別し易くする仕様である。

そして、どちらのシークであるかを内部フラグに記憶しておき、無駄な描画をしない様、演奏中シークの場合は マークを再描画しないようにしてあった。

しかし、本件の状況のように演奏開始とシークが間髪入れず実施されると、内部フラグと マーク表示との整合タイミングにずれが生じ、

マークが表示されていない状況で無駄な描画を行わないシーケンスに入ってしまい、結果として マークが非表示状態で演奏している状態に陥った。

なお、V6.51からV6.52にマイナーアップした際、確実なメッセージ処理をするために、MIDIオープンと演奏開始との間に0.1秒ほどのインターバルを与えた。

このインターバルが、より「演奏開始とシークが間髪入れず実施される」状況を発生させ易くしていた。

このインターバルが存在しなければ確率は低くなるが、所詮原理的に本症状は発生する。

(対処)

マークの描画に関しては、シーク区分の内部フラグ状態によらず、MIDI音源オープン時に常に表示させるよう改めた。

概要(2013.12.01)

末尾に空でない文字列をもつ *STOP があり、それより前に *MARK があるMuse データで確認した挙動です。

*MARK を通過した後に Ctrl+ を押して、*STOP の位置で停止している状態で、スペースキーを押すと が表示されます。その一瞬後に Ctrl+ を押す(タイミングがちょっと微妙)と、 が消えて、直前の *MARK に戻って再生が始まります。しかし、このとき が消えたままで再生している状態になります。

更に単純な状況で再現しました。

MARKは不要でした。

_1
*STOP"xxx"

- (1)スペース押下で冒頭から演奏開始（上記データでは音は出ないけど）
- (2)演奏している間に[CTRL]キーを押下（以降、[CTRL]は押しっぱなしです）
- (3)STOPで停止したら、スペース押下の直後に、間髪入れず[]押下（[CTRL]は押したまま）
- (4)シークバーが曲頭に戻って演奏開始（この時点で が表示されていない）

関連するチケット:

関連している Release # 183: Muse V6.62

終了

2013/12/01